

「根拠に基づく医療（EBM）」は、根拠となる情報元や研究データの形態に応じて以下のようなレベルに分類されます。エビデンスレベルの高い方が科学的に根拠があると考えられます。

エビデンスレベルの分類



レベル	内容
1a	ランダム化比較試験のメタアナリシス
1b	少なくとも1つのランダム化比較試験（RCT）
2a	ランダム割付を伴わない同時コントロールを伴うコホート研究
2b	ランダム割付を伴わない過去のコントロールを伴うコホート研究
3	症例対照
4	処置前後の比較などの前後比較、対照群を伴わない研究
5	症例報告
6	専門家個人の意見（専門家委員会報告を含む）

専門家の個人的な経験に基づく意見（専門家委員会報告を含む）は、現在では根拠としては最も低いものと考えられております。当院では論文や学会ガイドライン、厚生労働省のデータなどに基づき、根拠ある医療の提供に努力して参ります。